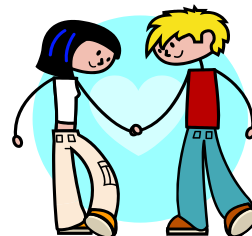


第36号 うつべ人権協ニュース



令和6年3月 発行
内部地区人権教育推進協議会

内部地区人権教育推進協議会は、「人が人として尊ばれ、住んでいてよかった 住んでみたいまち、うつべ」の実現をめざして、平成12年以来活動を続けています。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症と距離をおくことができ、コロナ禍以前の活動に戻ることができました。

内部地区で実施された人権に関する事業の内容を皆様にお伝えするために、「人権協ニュース」を発行して各戸にお届けします。是非ご一読ください。

第45回 四日市人権・同和教育研究大会



8月20日(日)第45回四日市人権・同和教育研究大会が開催されました。午前中は、四日市市文化会館で全体会や「人の世に熱と光を ～水平社創立の思想に学ぶ～」というテーマで水平社博物館館長の駒井忠之さんの記念講演がありました。

午後の分科会の会場は、課題別に分かれていました。内部地区人権教育推進協議会から田中博さんが、社会教育分野で「住民・団体の学習と啓発」の分科会で報告されました。

「人が人として尊ばれ、住んでいてよかった、住んでみたいまちをめざして」というテーマで地区懇談会・人権講演会などの啓発活動を中心に、内部人権協活動の歴史や取り組みの成果と課題をわかりやすく報告されました。分科会では、少人数のグループに分かれて感想や「地域の啓発リーダーを如何に育成していくか」などの課題を話し合いました。内部地区からたくさんの方が参加されました。ありがとうございました。

人権講演会 ～考えよう、私たちにできること～

9月27日(水)内部地区市民センター別館にて、内部地区人権教育推進協議会主催の人権講演会が開催されました。この講演会は、人権協委員の研修も兼ねて例年開催しています。今回は公益財団法人「反差別・人権研究所みえ」の荻田実樹さんを講師としてお迎えしました。

「人権」とは「すべての人が持っている、誰にも奪うことのできない権利」です。「人権」を守るために大切なことは何でしょうか。「考えよう、私たちにできること」という演題で、身近にあるさまざまな人権課題の解決に向けて、自分たちにどんなことができるのか、荻田さんご自身の経験や出会いを通して、わかりやすく熱く語っていただきました。



講演会の感想を一部紹介します。

- 自分自身に差別・偏見を向けられたとき、人は差別に向き合うことが多いけれど、そうではなく、無関心だった私たち自身がいろんなところで差別があるということにまず目を向け気づくこと、そして差別解消に向けて動くことが大切だと感じさせられました。「それって、おかしいやん」と思える人権感覚を身につけていきたいです。(30代)
- 難しいテーマをどう話されるのかと思って参加させていただきましたが、初めから最後まで分かりやすく、具体的で聞き入りました。「差別をしてない。見てないからよい」ということでなく、「無意識のうちにしていたり、見て見ぬふりしたりしていることが多い」だから知ることや学ぶことが大切と気がつきました。人にも伝えていくことが大事。(40代)
- 見方や偏見について考えていくことの大切さを学びました。自分自身の「あれ?」と感じることは自分の価値観と相手の価値観が違う時であるので、その時こそ、その人のことを知ろうと思う気持ちや自分の偏った見方を振り返っていきたいと思う。相手の立場に立って考えようとする気持ちを忘れず、自分が周りから相談してもらえ人間性を培っていけるようにしたいです。何ができるかを考えていきたいと思いました。(50代)
- 自分自身を振り返ってのヤングケアラーの体験談は、すごく身近な問題で分かりやすかったです。そして、わかりやすい内容と身近な資料で聞きやすいお話でした。(60代)(70代)



心温まった「人権コンサート」



11月26日(日)に内部地区市民センター別館にて、60名ほどの参加者のもと人権コンサートを開催しました。演奏者は、「楓アンサンブル」というフルート、クラリネット、オーボエ、ホルン、ユーフォニアムの5人による混成ユニットで、素敵な演奏会となりました。

昔懐かしい馴染みのある曲からクラシックまで、新しい音楽の風を送り込んでもらいました。

最後に、参加者全員で「ふるさと」を合唱しました。演奏者と参加者が一つとなり、人権協のスローガンである「人が人として尊ばれ、住んでいてよかった 住んでみたいまち、うつべ」を実感できる、心温まる「人権コンサート」となりました。

内部地区文化祭 人権啓発コーナーより

11月12日(日)に内部小学校で内部地区文化祭が開催されました。人権教育推進協議会として「人権啓発コーナー」を設け、小・中学生の人権ポスターを展示しました。内部小学校から4点、内部東小学校から5点、内部中学校から6点出展していただきました。

どれも力作ぞろいで、時勢を反映してか「戦争と平和」やいじめ問題をあつかった「友だちを大切にすること」をテーマにした作品が多くみられました。

出展していただいたポスターを順不同で掲載します。





内部小6年 須藤 優



内部小6年 今井 彩葉



内部小6年 萩原 愛依華



内部東小5年 原田 夏希



内部東小5年 奥村 風真



内部小6年 丸尾 舞華



内部東小5年 藤岡 奈月



内部東小5年 森 光成



内部東小5年 松本 莉世

また、人権啓発アンケートも実施し、約100名の方にご協力いただきました。一部を紹介します。

<設問1> 人権啓発コーナーをご覧いただき、いかがでしたか。

- ・一人一人が人権のことを考えて、一生懸命に描いたのが伝わってきました。(小学生)
- ・ポスターから人権への考え方を改める必要があると思った。(高校生)
- ・全員絵が上手。今、世の中で起こっている事をつかんだポスターが良い。(社会人)

<設問2> 日頃、人権について考えたことはありますか。

- ・ある 63名
- ・あまりない 34名
- ・まったくない 2名

◆人権についてのあなたの考えをお聞かせください。

- ・人の悪口を言わない。人をいじめないことを意識しています。(小学生)
- ・一人一人の意思とかを尊重すべきだと考えます。(中学生)
- ・全ての人と同じ対応をされるべき。(高校生)
- ・他の人の意見や気持ちを考えて行動する。(社会人)
- ・人権について、まず「知ること」が大切。そして、全ての人自分らしく、のびのびと暮らすことができるようにしていかなければならないと思う。(社会人)

<設問3> あなたが大切にしていること、家族で大切にしていることをお聞かせください。

- ・人を悪いように思わない。人をいじめない。人を傷つけない。(小学生)
- ・他人の悪口を言わない。個人の意見を尊重する。(中学生)
- ・家族内でのルールをしっかり守り、家族仲良くしている。(高校生)
- ・「お姉ちゃんだから」「子どもだから」「女だから」「男だから」と決めつけてみるのではなく、一人の人間として接していくようにしている。(社会人)
- ・その日の出来事を家族で話し合うなど、家族内の会話を大切にしています。(社会人)

人権地区懇談会開催

開催地区の自治会長及び人権協委員の皆様方のご協力を得て「地区懇談会」を開催することができました。

今年度は、家庭からふりかえる人権「話せてよかった」というDVDを視聴後、懇談会を行いました。

人がそれぞれに持っている価値観の違いを認めて、相手を大切に思うことは、「人権」の基本的な考え方です。そして、「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。普段、そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、夫婦や親子のような近く親しい関係においては、相手を、そして自分自身を、一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによってその問題と向き合うことを提案したDVDでした。「もっと多くの方に声掛けすればよかった」と感想がありました。



各町自治会の開催状況は次の通りです。

グループ	開催自治会名	開催日時	開催会場
A	貝家町	令和5年12月3日(日) 13:00～	貝家町公民館
B	波木町第二 ・波木町第三	令和6年1月28日(日) 10:00～	波木町第二集会所
C	采女町中部 ・采女町南部	令和6年1月27日(土) 19:00～	采女町公会所
D	森カ山町	令和5年11月18日(土) 16:00～	JSR 森カ山社宅集会所
E	高塚町	令和5年12月16日(土) 19:00～	高塚町第1集会所
F	東原町	令和5年10月7日(土) 10:00～	東原町集会所



内部地区子ども人権フォーラム

12月7日(木)には、内部中学校で、内部小学校と内部東小学校の6年生と内部中学校の2年生による人権フォーラムが行われました。内部地区人権教育推進協議会もオブザーバーとして参観しました。児童・生徒のみなさんは、小グループに分かれて、与えられた課題に対して真剣に考え、自分の意見を堂々と発表していました。

